

令和4年度第3回山陽小野田市公立大学法人評価委員会議事要旨

- 1 日 時 令和5年3月15日(水曜日) 15:00～15:59
- 2 場 所 山陽小野田市立山口東京理科大学 1号館 2階 大会議室
- 3 出席者 委 員 堤委員長、濱口委員、藤本委員
事務局 大坪大学推進室主査、尼崎主任
公立大学法人山陽小野田市立山口東京理科大学
池北理事長、芳司理事長特別補佐兼事務局管財部長、吉村
事務局総務部次長、御手洗事務局総務部総務課長補佐

—開会—

4 議 事

(1) 法人理事長あいさつ

(2) 議題 (1) 公立大学法人山陽小野田市立山口東京理科大学 第2期中期計画の変更認可に係る意見について

第2期中期計画変更案(資料2～4)について法人より説明を受けた後、質疑等が行われた。

主なものとしては、数理情報科学科及び今後設置予定の医薬品情報工学系学科はそれぞれ入学定員60人、収容定員240人とのことだが、何人の教員を置くのか、との質問に対し、文部科学省の大学設置基準では、工学関係の学部については1学科ごとに8名(うち半数以上は原則として教授でなければならない)であるのに対し、10名ずつを予定している、との回答や、数理情報科学科は地域に対してどの程度連携、貢献できると考えるか、との質問に対し、これまで公的研究機関や企業の研究機関等で他の企業等との共同研究等を行ってこられた方々に教員として赴任していただくことから、企業との連携や受託研究を通じて地域連携、社会貢献を行っていきたい、との回答、今後設置予定の医薬品情報工学系学科は富山県立大学の医薬品工学科に近いものか、との質問に対し、富山県立大学

は医薬品に限った内容が中心となっているのに対し、医薬品に限らず、食品や化粧品原末など、広く医薬関連企業で活躍できる人材を育成したい、また、特色として、数理情報科学科と連携し、データを使った企業の課題解決に向けた取組などの地域連携、社会貢献も行っていきたいと考えている、との回答があった。

また、委員より、今後も学生数が増えていくに当たり、食事面など、学生の福利厚生充実にもこれまで以上に力を入れていただきたい旨のコメントがあった。

—法人退席—

(3) 委員意見交換

特段の意見はなく、市長への答申書（意見書）については事務局案（資料5）のとおり提出することとして承認された。

—閉会—